

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



雪の里山

1月26日(土) 雪 竹のコースターづくり!

今日は少し雪が降り、里山は雪景色です。寒い日はあったかい汁ものが一番! ハット汁をつくりました。午後は竹コースターのコースづくりです! 長さ10mの竹コースができました。

ハット汁!

ハット汁とは東北に伝わる郷土料理。小麦粉を練った生地を一口大に薄くのばしたものを汁仕立てにした「はっと汁」は、身も心もあたたまる冬の定番。

大鍋に野菜いっぱい汁をつくって、ハットを煮込んで食べました。ハットは子供たちがちぎりました。

あまりに美味なので「作るのをご法度」とされたとの説もあるとか。



ハット汁

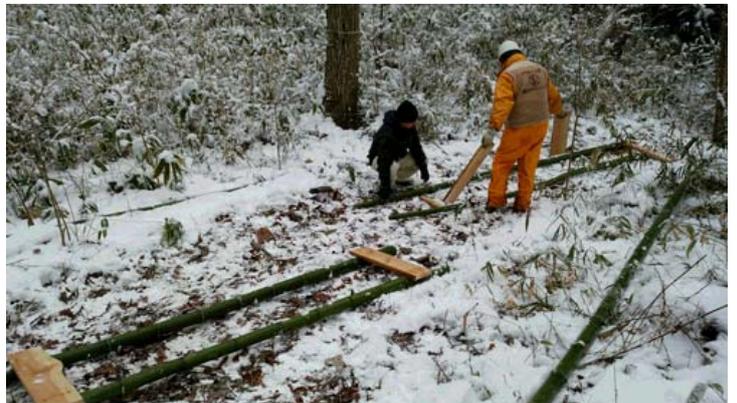


竹コースターのコースづくり!

コース用の竹は、今日は5本切りました。直径10cm程度の太めの竹を切ったので、倒れるのが割と迫力がありましたよ!

その後、設置場所に運んで枕板の取り付け。今日は長さ10mの竹コースができました。

竹が曲がっていたため、ソリが外れたり、滑らなかつたりで、次回修正します。全体で25mのコースにしたいので、残りの分は次回作ります。



竹の伐採!



雪の中、竹林に竹コースター用の竹を切りに行きました。一家族につき、一本の竹を切りました。子ども達は木に積もった雪を降ろして遊んでいました。

